

# FUJIFILM MEDICAL SEMINAR 2017 in 東京

## 富士フィルムDR進化の系譜 ～ 快適なワークフローと線量低減 ～



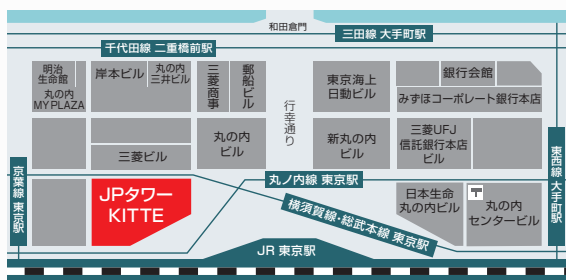
日時 2017年 8月5日(土) 15:00～18:00 (開場14:30～)

会場 JP TOWER Hall&Conference 東京都千代田区丸の内2-7-2 JPタワー・KITTE4階  
TEL : 03-5222-1800

申込方法 富士フィルムメディカルホームページ  
(<http://fms.fujifilm.co.jp/>)からお申込みください。

受付期間 2017年 7月3日(月) 9:00～8月2日(水) 17:00まで

定員 150名 ※定員になり次第締め切らせて頂きます。



## PROGRAM

※演題につきましては変更される場合がございますので、予めご了承ください。

演題1 DR CART SYSTEM CALNEO AQRO ～ポータブルFPD撮影の有用性～ 15:10 ▶ 15:40

講師 影山 耕平 先生 東京慈恵会医科大学附属病院 放射線部

DR回診車「CALNEO AQRO」を導入された当施設様の病棟撮影における線量低減への考え方及び取り組みについてご講演いただきます。

演題2 DR長尺撮影用システム CALNEO GL ～長尺撮影における有用性について～ 15:40 ▶ 16:10

講師 三浦 茂樹 先生 慶應義塾大学病院 中央放射線技術室

1ショットハイブリッド長尺撮影システム「CALNEO GL」における線量低減への取り組み及び撮影業務効率化についてご講演いただきます。

演題3 放射線検査部門管理支援システム ASSISTA Management ～写損カンファレンス機能の有用性～ 16:10 ▶ 16:40

講師 笠原 賢治 先生 東海大学医学部附属病院 放射線技術科

フィルムレス運用下における写損カンファレンスシステム「ASSISTA Management」をいち早く導入された当施設様において、当機能を活用した撮影技術向上への取り組みについてご講演いただきます。

演題4 新画像処理の新たな地平線 ～臨床への有用性を探る～ 16:55 ▶ 17:50

講師 船橋 正夫 先生 大阪府立急性期・総合医療センター 医療技術部部长

FCRの創成期にいち早くALL DIGITAL化を推進された当施設様において、画像処理の臨床的観点での有用性及び今後の期待についてご講演いただきます。